

人権あれこれ

『LGBTQIA+』って何？ ジェンダー平等に向けて— ジェンダー平等を考える上で大切な、性の多様性を知ろう

LGBTQIA+ とは、「からだの性」と「こころの性」が一致しない人、性的志向が異性ではなく「同性や両性」の人などを指します。

今まで性の種類は「男性」「女性」の2つだけとされてきました。しかし、近年では性の種類は人間の数だけ存在すると言われていています。民主主義の先進国7カ国の中で、同性婚を認めていないのは日本だけです。日本では国民憲法により、日本での同性愛婚は認められていませんが、世界の同性婚を見てみると、2021年9月現

在、法的に認められている国は30カ国あります。

今は、少しずつゆっくりとですが、社会が変わってきています。ジェンダーについて話すると「昔はそんな人はいなかった」という言葉をよく耳にします。昔はいなかったのではなく、言い出せる世の中ではなかっただけです。

ジェンダー平等を実現するためには、今までの固定概念にとらわれず、皆が一人の人間として、その人自身を理解できるようにしていきたいものです。

- L (レズビアン) : 女性の同性愛者 (からだ・こころの性は女性で一致している)
- G (ゲイ) : 男性の同性愛者 (からだ・こころの性は男性で一致している)
- B (バイセクシャル) : 両性愛者 (からだ・こころの性が一致している、恋愛対象は両性)
- T (トランスジェンダー) : 「からだの性」と「こころの性」が一致していない人
- Q (クエスチョニング) : 自分の性がわからない、または決めていない人
- I (インターセクシャル) : 生まれつき男女両方の身体的特徴をもつ人
- A (アセクシャル) : 無性愛者 (誰に対しても恋愛感情を抱かない人)
- + (プラス) : LGBTQIA以外のさまざまな性

8月3日、第47回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会が行われ、ヴィレステひえづで開催された「就学前学校教育 創造①・②」に参加しました。

まず、倉吉市立西郷保育園から、異年齢縦割り保育の運動会と朝活の取り組みについて、実践報告が行われました。

運動会では、5歳児のみのもりレーから、他年齢合同りレーがやりたい、と子どもたちから意見が出るなど、5歳児が3歳児をリードする心の成長が見られました。保育士もみんなで話し合い、お互いの意見を言い合ったことで生まれた、つながることの変化に気づいたそうです。

また、朝活の様子を活動新聞にして保護者にも報告し、家

庭にも共有することで、子どもたちの成長を共に感じる事ができた、と報告されました。

八頭町立八東小学校からは、授業実践からの学びについての活動報告が行われました。

「気・知・行」の「気」は、おかしなこと(不合理)に気づく。「知」は、正しいことを知る。「行」は、力を合わせて行動すると説き、教材は考える授業だと話しました。

最後に、県教育委員会人権教育課の河村さんが、「知らないと気づかない。知ることが大切。知るだけではダメ。知識として知るだけでは、ただの道具で他人事。自分事にする必要がある」と話し、自分事として考えることの大切さを学びました。

「第45回日野町解放文化祭」開催のお知らせ

8月29日に解放文化祭の実行委員会を開き、実行委員長に柴田孝志さんを選任しました。

※詳しくは、10月20日配布のチラシをご覧ください。

テーマ 「暮らしの中に人権の輪を広げよう！」
日程 11月5日(土)、6日(日)

第47回人権尊重社会を実現する


鳥取県研究集会に参加して

下榎隣保館 指導員 中原純子

対策、お役立ち情報など
押さえておきたい
情報満載!

第15回

獣害対策 アップデート



カラスの嫌いな黄色?

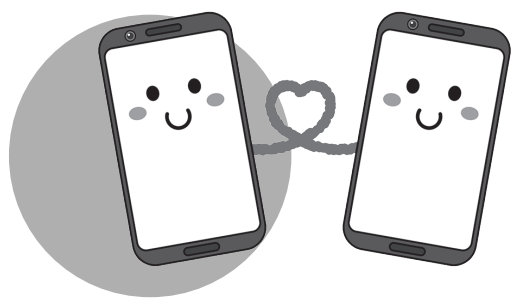
今回は、カラスは黄色が嫌
いってホント?というお話をし
たいと思います。
結論から言いますと、カラス
に嫌いな色はありません。では
なぜ、カラスは黄色が嫌いとの
話が広まってしまったのか。そ
の誤解は、カラス対策で開発さ
れたゴミ袋が黄色だったことか
ら始まりました。
そもそもカラスの視覚という
ものは、人間以上に色の見分け
が出来るのに加えて、紫外線も
認識することができます。
カラスの視覚(紫外線認識)
に関するこんな実験があります。
紫外線あり・なしの環境下で、
本物の肉と偽物の肉(見た目は
限りなく本物の食品サンプル)
を見分けさせる実験を行ったと
ころ、紫外線のある環境下で
はほぼ100%本物を選びまし
た。しかし紫外線のない環境下

日野郡鳥獣被害対策協議会
川野風花【問合せ】電話 72-1399

では本物を選ぶ確率は50%
程度に落ちます。つまり当
てずっぽうになります。ど
うやらカラスは餌を判別す
る際に、紫外線を頼りにし
ているようです。
こうしたカラスの視覚を
考慮して開発されたカラス
対策ゴミ袋は、紫外線を反
射しない特殊な黄色い顔料
が練り込まれたゴミ袋です。
人間は紫外線を認識しないの
で、中身の見えるただの半透明
の黄色いゴミ袋なのですが、紫
外線を頼りにしているカラスに
は中身が見えなくなってしま
うという仕組みなのです。「紫
線を反射しない」がミソなの
ですが、見た目が「黄色」だっ
たことから、「黄色いゴミ袋はカ
ラスがつかない」↓「黄色
いカラスが嫌いな色」という間
違った情報が広まってしまっ
たようです。
「カラスに嫌いな色はありません」



～こんにちは、消費生活相談員です～
知って安心!消費生活のはなし



スマホ教室を開催しました!

携帯電話といえば、年齢にかかわらず、多数の
人がスマートフォンを利用するようになりました。
持ってはいても、「この表示、何?」「触ったら画面
が変わって元に戻らない!」「変なメッセージが出
て消えない!」など不安なこともあるようです。

役場産業振興課消費生活相談窓口では、7月12
日、県との共催でスマホ教室を開催しました。消
費生活相談員や、携帯電話会社のスタッフが、通
販トラブルや不審なメッセージへの注意点、スマ
ホの仕組みについて説明。さらに鳥取大学の学生
2人も加わり、参加者一人一人の疑問に対して個
別にアドバイスしました。



日野郡3町では、毎週水曜日に相談員が輪番で対応しています。(くらしのカレンダー参照)
他役場の相談窓口もご利用ください。
※次回の消費生活相談員来室日 9月28日(水)
★相談は、消費生活相談窓口(役場産業振興課内)(電話 72-0336 または局番なしの188)へ!